

令和4年12月23日
道路局企画課

第8回日印道路交流会議を開催しました（報告）

～道路分野における日本・インド両国の技術交流～

国土交通省は、インド道路交通省と、12月19日に、インド共和国ニューデリーに於いて「第8回日印道路交流会議」を開催しました。

本会議では、道路トンネルや道路舗装分野について、両国の知見を共有するとともに、引き続き、両国の技術交流を継続していくことを確認しました。

本会議は「道路および道路交通に関する協力枠組」に基づき開催されており、2014年（平成26年）10月にインド共和国ニューデリーにおいて第1回会議を開催して以降、ほぼ毎年開催しています。第8回日印道路交流会議の結果概要は次のとおりです。

《第8回日印道路交流会議》

- (1) 開催日：令和4年12月19日（月）
- (2) 開催場所：インド共和国ニューデリー
- (2) 出席者：

[日本側] 国土交通省 道路局審議官 久保田 誉
道路局企画課 海外道路プロジェクト推進官 北澗 弘康 ほか
[インド側] 道路交通省 次官 アルカ・ウパディヤイ
用地・国道担当副次官 アミット・クマール・ゴシュ ほか



会議開催の様子

【問い合わせ先】

国土交通省 道路局 企画課 国際室 北澗（きたま）、野々田
電話 03-5253-8111（内線：37542）、直通 03-5253-8906

(別紙) 結果概要

本会議では、日本側より「道路メンテナンス」「道路トンネル維持管理」等について、インド側から、「高速道路計画」「環境配慮工事」等について、発表がなされた後、活発な意見交換が行われました。

【日本側発表】

- ・道路メンテナンスについて、道路舗装の高耐久技術、多雪・寒冷地における舗装技術、道路システムのデジタル化等の日本の事例と最近の動向を紹介しました。
- ・NEXCO東日本で活用している100km/hrで高速道路を走行しつつ、舗装のわだち掘れ・ひび割れ・IRIの測定が可能な技術や、トンネルの高度な運用と保守、検査データの運用方法、劣化予測モデル等の技術を紹介しました。
- ・道路トンネルの維持管理について、トンネル火災事故対応の留意点や道路トンネルの防災設備、遠隔監視・操作システムを紹介しました。

【インド側発表】

- ・インドにおける高速道路トンネルについて、現在の状況、計画の考え方やルート選定に伴う地質・地盤調査、トンネルの掘削方法、トンネル内での事故対策等について紹介がありました。
- ・デリー・ムンバイ高速道路の建設について、プロジェクト概要、混雑削減効果、森林地帯を考慮した構造物設計、資金調達構造等の説明がありました。
- ・環境に配慮した工事の事例紹介として、温室効果ガス排出削減の取組、環境配慮型舗装、緑のある革新的な斜面保護技術等の紹介がありました。

会議を通じて、両国の道路分野の知見を共有するとともに、引き続き道路分野における協力関係を継続していくことを確認しました。今後も日印両国の道路に関する技術交流を実施して参ります。



会議の様子